



第12期(2026)CP研究会

一般社団法人日本コミュニティファーマシー協会(JACP)では「患者のための薬局ビジョン」で掲げられているかかりつけ薬剤師・薬局機能、健康サポート機能、高度薬学管理機能修得のための知識、技術、態度、コンピテンシー涵養の研修会を開催します。

オンライン配信研究会

今回は2026年度後期のCP研究会のご案内です。

2021年よりCP研究会はサプスクリプション方式で行っています。JACP会員の方は年会費を納めていれば無料で視聴できます。申し込みをされた方にはZoomのURLをお送りします。また当日リアルタイムでは参加できない方のために録画配信も行っています。これにより日程が合わない方も録画の視聴(一定期間視聴可)ができます。

- 主 催／一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会(JACP)
- 閲覧方法／Zoomによるオンライン配信
- 時 間／各回ともに19時25分～21時
- 対 象／薬剤師、薬学生、薬局関係者
- 受講料／会員無料、一般3,000円
- 申込締切／各回の開催日の2日前まで

日 時	テ ー マ	講 師	内 容
第4回 10/24(土) 19時25分～21時	携帯心電計を使い 心不全パンデミックに備えよう	(一社)日本心不全薬学共創機構 常務理事 土橋弘靖	携帯心電図を使った薬剤師の在宅、外来業務は、患者さんの健康管理を支援する重要な手段です。薬剤師が携帯心電図を使用して心臓の状態をモニタリングし、必要に応じて薬の効き目を医師にアフターフォローします。これにより、患者の状態をリアルタイムで把握し、早期に異常を検知して適切な医療連携を行うことが可能となります。心電図を全く読めなくても、明日から携帯心電計を使い判読の知識も理解できるセミナーです。
第5回 11/21(土) 19時25分～21時	変わりゆくドイツの薬局、 変わらないドイツの薬局の強み	セントラルアポテーケ開設者 アッセンハイマー慶子	ドイツの薬局はとても厳しい状況にあり、かつて2万店舗ほどあった薬局は、現在16000店舗ほどです。ドイツ政府は12000店舗ほどでよいと言っているそうです。そのような中、本年7月にドイツ薬局改革法が施行されました。ドイツの薬局にとっては、業務が広がり報酬がつくような改革です。アッセンハイマー氏がドイツ薬学視察旅行の時に話されるドイツの薬局のことを日本にいながら聞くことができます。
第6回 12/19(土) 19時25分～21時	薬局を取り巻く環境変化と その対応	(一社)日本コミュニティファーマシー協会 代表理事 吉岡ゆうこ	2026年度調剤報酬改定後の疑義解釈や薬局のその後の動向の話、来年3月1日(予定)から施行されるOTC類似薬の一部保険外療養の話、薬機法改正により来年5月20日から施行される健康増進支援薬局、地域連携薬局の届出要件の話など、薬局を取り巻く環境変化とその対応のお話をします。